

旭市都市計画マスタープラン 全体構想（素案）がまとまりました

市では、将来を見据えた安全で快適なまちづくりを進めるため、「都市計画マスタープラン」を策定しています。この計画は、都市計画法に基づき「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として市が主体的に策定するもので、今後、市で行うさまざまな都市計画の総合的な指針となるものです。今回、これまで検討してきました都市計画マスタープランの「全体構想（素案）」がまとまりましたので、その概要について、お知らせします。

都市の将来像と都市づくりの目標（都市づくりの将来像を実現するための目標）

市のまちづくりの総合的指針である「旭市総合計画」では、将来都市像に「ひとが輝き海とみどりがつくる 健康都市」と



旭市を掲げ、総合的な施策展開を図っています。旭市都市計画マスタープランにおいても、この将来都市像の実現に向けて、3つの都市づくり目標を設定します。

- 市民が生き生きと健康に暮らすことのできる都市づくり。
- 豊かな食文化を育む、農業、水産業などの地域産業の活性化を目指した都市づくり。
- 自然や歴史、レクリエーション資源を生かした地域内外の交流による都市づくり。

将来人口目標（目標とする市の規模）

本計画の目標年次を総合計画

の目標年次から10年後の平成38年とし、将来人口を63,000人に設定します。

将来都市構造（将来像を実現する市の骨格イメージ）

市民の誇りである豊かな自然環境、田園環境を保全し、既存の都市機能集積を生かしながら、調和のとれた秩序ある都市的土地利用ゾーンの配置を図ります。

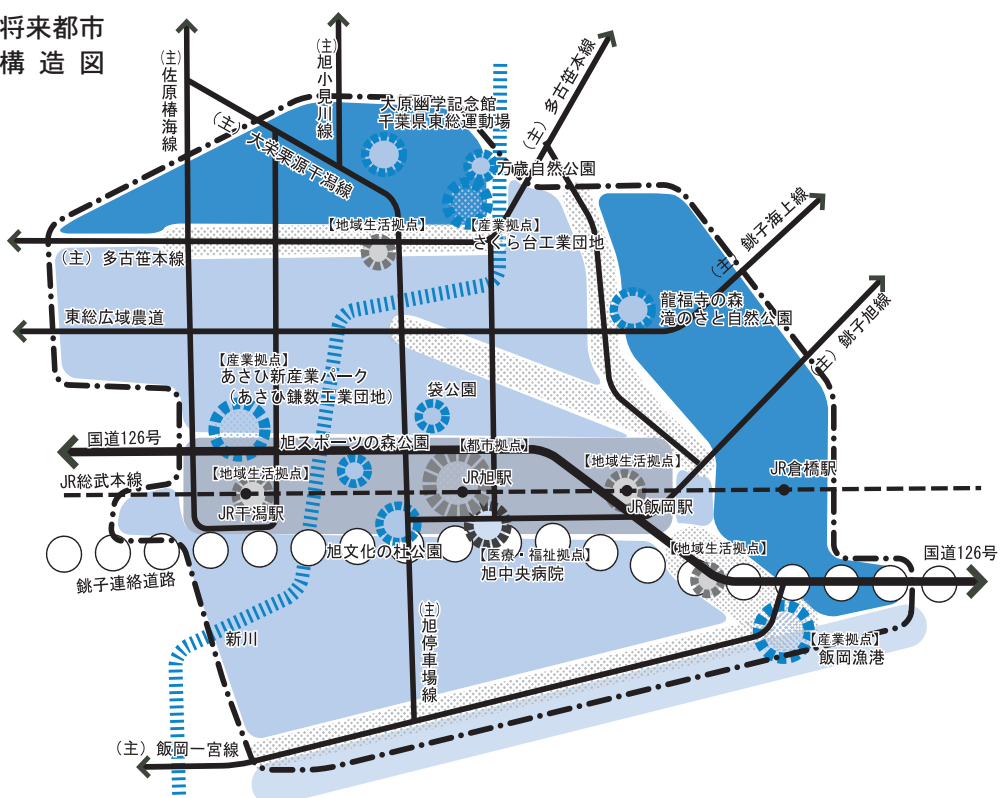
また、地域資源や既存の都市機能を生かした拠点の機能充実を図り、各拠点間の連携・相互補完により市の一体性を強化し、均衡あるまちづくりを目指します。

土地利用の骨格

市街地ゾーン

JR総武本線の飯岡駅周辺から干潟駅周辺にかけての、鉄道および国道126号沿いを市街地ゾーンとし、機能的、効率的な都市整備を進め、都市の核として形成を図ります。

将来都市構造図



凡 例	
	都市拠点
	地域生活拠点
	産業拠点
	健康・スポーツ・レクリエーション拠点
	医療・福祉拠点
	銚子連絡道路
	幹線道路
	市街地ゾーン
	田園ゾーン
	緑地ゾーン
	海浜ゾーン
	集落地
	河川
	鉄道・駅

田園ゾーン

千潟八万石を中心とした田園・農業集落地帯を田園ゾーンとし、市街化を抑制し良好な農業環境の保全と、田園環境と調和した集落地の居住環境の向上を目指します。

緑地ゾーン

台地上の畑地および樹林地、崖地を縁取る斜面林を緑地ゾーンとし、良好な自然環境・農業環境の保全と自然とのふれあいや憩いの場としての活用を目指します。

海浜ゾーン

九十九里浜一帯を海浜ゾーンとし、良好な景観と観光・レクリエーション施設の集積を生かし、海浜リゾート・レクリエー

ション機能の充実を図ります。

■拠点の形成

都市拠点

JR旭駅周辺を商業・業務、行政機能の中核となる都市拠点として位置付けます。

地域生活拠点

海上支所、飯岡支所、千潟支所を中心とした地区を地域生活拠点として位置付け、地域の自然や歴史、コミュニティなどの特性を生かし、日常生活を支える機能の充実を図ります。

産業拠点

あさひ鎌数工業団地・さくら台工業団地を工業の産業拠点と位置付け、立地環境の整備などによる工業機能の集積の促進を

図ります。

飯岡漁港およびその周辺を水産業の産業拠点として位置付け、漁港機能の保全とともに体感・体験型の新しい観光産業の拠点として整備を推進します。

歴史・文化拠点

大原幽学記念館周辺、東総文会館・東部図書館が立地する「旭文化の杜公園」、龍福寺の森周辺を歴史・文化拠点として位置付け、多様な文化創造・学習活動の拠点としての機能の充実を目指します。

健康・スポーツ・レクリエーション拠点

旭スポーツの森公園、袋公園、海上コミュニティ運動公園、滝のさと自然公園、万歳自然公園

や千葉県東総運動場、あさひ健康パーク、刑部岬などを健康・スポーツ・レクリエーションの拠点として位置付け、市民の健康づくりや観光交流、レクリエーションの場としての機能充実を目指します。

医療・福祉拠点

旭中央病院および周辺の福祉関連施設を医療・福祉拠点として位置付け、医療福祉サービス機能の充実と交通アクセスなど、利用しやすい環境整備を目指します。

■交通体系の骨格

広域交通軸（JR総武本線および国道126号、銚子連絡道路）

東京方面および県都千葉市方面と連絡する広域的な交通需要への対応として、広域交通軸を形成します。

地域連絡軸（主要地方道・県道および広域農道）

市内地域間の連携強化、快適な移動環境の確保や周辺都市との地域連絡軸として東西、南北方向の格子状ネットワークを形成します。

市街地骨格軸（千潟駅周辺地区および旭駅周辺地区の都市計画道路を中心とした道路）

市街地内への通過交通の流入を防ぎ、効率的で円滑な都市活

動を支えるための市街地の骨格を形成する交通軸として位置付けます。

今後の策定スケジュール

今後は、地域別構想の策定を進めます。地域別構想は、地域の特性を生かしたまちづくりを進めるため、地域住民と行政が共有する身近なまちづくりの方針となるものです。

地域区分については、地域の生活圏やコミュニティの実情を考慮し、旭、海上、飯岡、千潟の4つの地域区分で構想を検討していきます。

計画への意見を募集

くわしい内容は、市のホームページおよび都市整備課で閲覧することができま

す。皆さんの意見をお寄せください。

提出方法／郵送、ファクス、メールで提出してください。様式は任意ですが、住所、氏名、連絡先は必ず記載してください。

募集期限／7月31日(金)まで

意見の提出・問い合わせ先

〒289-1259

旭市二の1920

都市整備課都市計画班

☎ 6215355

FAX 6215395

✉ toshi@city.asahi.lg.jp

マスタープラン策定の流れ

旭市総合計画

<都市計画マスタープラン>

- 全体構想
 - ・都市の将来像と都市づくりの目標
 - ・都市づくりの方針
 - ・将来都市構造
 - ・土地利用の方針
 - ・交通体系の整備方針
 - ・公園・緑地の整備方針
 - ・自然環境の保全および都市環境形成に関する方針
 - ・景観形成の方針
 - ・安全・安心の都市づくりに関する方針
 - ・下水道・排水施設の整備方針
- 地域別構想（旭・海上・飯岡・千潟地域）
 - ・将来地域像
 - ・地域の整備方針
- 実現化方策

《マスタープランに基づいた個別具体的都市計画》

- ・土地利用（用途地域の指定など）
- ・都市施設（道路・公園・下水道など）
- ・市街地開発（土地区画整理事業など）
- ・その他（地区計画など）

平成20年度

平成21年度

平成22年度以降